

令和4年6月20日

甲府市議会議長 廣瀬 集 一 様

経済建設委員長 中 村 明 彦

所 管 事 務 調 査 報 告 書

経済建設委員会におきましては、甲府市議会基本条例第18条第4項に基づく所管事務調査及び政策研究のテーマを「観光振興について」とし、調査・研究を進めてまいりました。

以下、これまでの経過と調査・研究の概要についてご報告いたします。

まず、令和3年9月13日の委員会におきまして、同年5月に甲府市観光振興基本計画の改定等に併せて本市の観光振興施策に積極的に関わっていくため、湯村温泉旅館協同組合及び昇仙峡観光協会との意見交換会を実施したことや、同年6月定例会本会議で天野 一前経済建設委員長が観光施策について一般質問を行ったという経過を踏まえ、調査・研究テーマを「観光振興について」に決定しました。

なお、調査・研究テーマを決定する際に、「中小企業の支援」についても調査・研究を進めるよう求める意見があり、本市の企業の大半を占める中小企業の経営状況や課題を的確に把握するため、まずは、甲府商工会議所との意見交換の場を設けることとし、甲府商工会議所と協議した結果、令和4年度の意見交換会開催に向けて合意を得たところであります。

次に、同年11月5日の委員会におきまして、「観光振興」は多岐にわたりますことから、より具体的に調査・研究を進める上で、委員間で意見交換を行い、同年5月に開催しました湯村温泉旅館協同組合及び昇仙峡観光協会との意見交換会における様々な意見等を踏まえ、前任期に続き本市の中核的な観光資源である湯村温泉及び昇仙峡の観光振興について調査・研究を進めていくこととしました。

次に、同年12月20日には、湯村温泉旅館協同組合主催の「湯村温泉を中心とした再開発会社の設立並びにその将来の構想についての説明会」に正副議長とともに委員会として出席し、同年12月10日に湯村温泉旅館協同組合、昇仙峡観光協会及びJTB甲府支店の3者により設立された甲府観光開発株式会社の概要や温泉街を明治時代のモダンな雰囲気統一し「浴衣でそぞろ歩きができる温泉街」を目指すという今後のビジョン、昇仙峡を訪れる観光客の自動車の台数をコントロール

し、カーボンニュートラルによる持続可能な観光地を目指す昇仙峡地域の抜本的な交通体系の改善等に向けた計画等について説明を受け、質疑を行い、今後の湯村温泉及び昇仙峡の活性化への取組について理解を深めました。

次に、令和4年4月21日の委員会におきまして、更なる調査・研究の取組について委員間で意見交換を行う中で、これまでの定例会における一般質問や所管事項調査での内容、また、同年2月15日に甲府観光開発株式会社、山梨県、甲府市、甲斐市の4者で湯村温泉と昇仙峡の観光振興に向けた連携協定を結んだことなどを踏まえ、湯村温泉旅館協同組合及び昇仙峡観光協会との意見交換会を再度実施することを決定するとともに、より充実した意見交換会とするためにこれまで調査・研究してきた経過や諸課題の情報共有を行いました。

次に、同年5月25日に湯村温泉旅館協同組合及び昇仙峡観光協会との意見交換を行い、湯村温泉旅館協同組合からは、廃業した旅館を解体し商業施設を建設する構想があることや、湯村温泉の道路を石畳にするために行政の支援を求める意見などがありました。また、昇仙峡観光協会からは、立て続けに撤去されたことによる昇仙峡の深刻なトイレ不足の問題や、令和3年12月に発生した落石事故により通行止めとなっている昇仙峡の遊歩道への早期対応を求める意見などをいただき、速やかに取り組まなければならない課題のみならず、今後の本市の観光施策を検討する上でも大変参考となる意見交換会となりました。

以上が、当委員会の調査・研究の概要であります。

なお、全委員が、この間の調査・研究内容を基に令和4年6月定例会に臨み、観光振興における諸課題の解決に向け取り組むよう当局に要望しました。

結びに、現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光関連産業にとっては大変苦難の時ではありますが、当委員会といたしましては、委員間での意見交換や湯村温泉旅館協同組合及び昇仙峡観光協会との意見交換会を通じて、本市は日本遺産に認定された御嶽昇仙峡をはじめとする魅力ある観光資源を豊富に有しており、官と民とがそれぞれの立場で知恵を出し合い、観光関連産業の発展に向けて取り組んでいく必要があると認識しています。

当局におかれましては、地域の方々や観光関連産業に携わる方々との連携をより一層深めながら、本市の自然・歴史・文化など、魅力的で豊かな観光資源の更なる磨き上げと活用により、「自然・歴史・文化が人を呼び賑わいを創出する信玄公生誕の地・甲府」の実現に向け、第3次甲府市観光振興基本計画において重点方針にも位置付けられている「魅力ある観光地づくり」を今後一層推進されるよう期待し、報告といたします。